



北海道遺産・北見市指定文化財

ピアソン記念館

第109号

ピアソン便り

2023. 3.31

発行人：福井 洋之（理事長） 編集人：伊藤 悟（理事）

NPO 法人ピアソン会事務局

(事務局長 伊藤 悟)

〒090-0036

北見市幸町7丁目4番28号

Tel. FAX 0157-31-1215

ピアソン記念館内

午前9:30～午後4:30

e-mail アドレス

pierson@yacht.ocn.ne.jp

ニューヨークタイムズ紙に掲載された記事（フィラデルフィア発）

N.Y. Times Mar. 13, '37

MRS. GEORGE P. PIERSON  
Served 40 Years as Presbyterian  
Missionary in Japan

Special to THE NEW YORK TIMES.

PHILADELPHIA, March 12. — Mrs. Ida Goepf Pierson, for forty years a Presbyterian missionary in Japan, died at her home here today in her seventy-fifth year.

Born in Easton, she was graduated in 1883 from Normal College, now Hunter College, in New York and then entered the Missionary field. She began to teach in St. Margaret's Girls School in Tokyo in 1890 and was married five years later to George P. Pierson, also a missionary.

Mrs. Pierson returned to this city in 1928, at the expiration of her service, and taught the Ladies Bible Class of Mount Airy Presbyterian Church for several years. A brother, Dr. R. Max Goepf, survives.

(新聞記事の日本語訳)

ジョージ・P・ピアソン氏夫人  
日本派遣の長老派宣教師として40年奉職  
ニューヨーク・タイムズ特報  
3月12日フィラデルフィア発  
日本派遣の長老派宣教師として40年間奉職した、アイダ・ゲップ・ピアソン夫人が、本日、当地の自宅にて75年の生涯を閉じた。(以下略)

逝去以降のまとめ

逝去：1937.3.12・Fri.

フィラデルフィア

モーリス・アパート

葬儀：1937.3.13・Sat.

フィラデルフィア

Oliver H. Bair 葬儀場

司式：John Grant Newman 牧師

参加者：George P. Pierson

R Max Goepf は存命中

埋葬：オレンジ・N. J. 州

Rosedale 墓地

(文責・訳：北原俊之)

写真下／現在でも残るフィラデルフィアのモーリスアパート。ピアソン夫妻は、この住宅で暮らしていた。



R Max Goepf (1866年～1950)

葬儀に立会ったアイダの弟、ペンシルバニア大学医学部部長やフィラデルフィア総合病院などに勤務。

## ピアソン会「総会」の開催案内

- ◎ 開催日時 : 2023年5月27日(土) 午後4時30分
- ◎ 開催場所 : ピアソン記念館内 北見市幸町7丁目4番28号
- ◎ 参加資格 : 運営会員・賛助会員・団体会員・その他
- ◎ 総会内容 : 2022年度事業・決算報告、2023年度事業・予算(案)、
- ◎ その他 : 総会参加者には、ピアソン記念館エコバッグを進呈致します。



思い出の講演

ピアソン夫妻と日本

(2)

師の残したもの

清水 昭典

ピアソン記念館『開館30年記念基調講演』2001年

わが国にも江戸時代、三越デパートの前身越後屋が「現金掛け値なし」の商法が成功した例はあります。野付牛の町は一九一一年（明治四四）に鉄道の池田線が開通し、多くの移民が入植してきましたが、新開のこの地では、旅の恥は掻き捨てとばかり、策略を持って人を嵌めて利益を得る等と言うことがよくあったらしいのです。それゆえ師の行為は格別な美筆とみられたのであります。

師が布教のために日本にいられた背景には、当時ニューイングランドから起こった宗教上の信仰復興運動が盛り上がったという事情があります。それは西部の開拓が進む中で教会も建っていない地に、もっぱら野外でミーティングを開き、そこへ馬車で牧師が来て説教をし、それが終わると次の開拓地へ巡回する。こうして牧師が熱心な信仰の呼びかけを行う。いわば宗教上の覚醒運動が行われていたのです。そしてこの牧師達を人々は『サーキットライダー』、乗馬で各地を巡回する人と言いました。彼らは世の中の日の当たらないところ、孤児院とか刑務所というような施設を巡り人々を感化し、差別されている黒人の待遇の改善、

売春をいけないことですと語りそれをやめることを強く語って歩いたのです。

この信仰復興運動が、一八九〇年頃アメリカの西部開拓が終わると今度は西部から太平洋を渡って日本や中国、フィリピンなどに波及して、ピアソン師もこの運動の使徒の一人として来日したのであります。

ピアソン夫妻が売春施設を設けることに強く反対し、売春を強制されている女性を救出し、差別されているアイヌ民族の女性イカノとその子金太郎を引き取ったりしたのは、単に善意の行為ではなく、宗教上の信仰の実践を具体化したことに他なりません。

ところで師が来日した一八八八年（明治二一）は、わが国の近代的な市制・町村制が定められ、翌二二年には大日本帝国憲法が公布され、さらに二三年には教育勅語も発せられ、近代国家としてのわが国の基礎が固められた時期でありました。

そこで、明治初年からの文明開化と言われた欧化政策から国家主義的政策への転換が行われ、外国人にとって住み難い雰囲気を作られつつありました。来日後、数年

にして教師を辞し、結婚したばかりの妻と共に道内を巡回布教するようになったのは、本来の信仰運動に挺身するのが師の念願であったと考えられるのです。

この運動には恵まれない人、弱い人、とりわけ女性や子供達を救済するという使命がありましたから、師夫妻は多くの貧しい若い娘達が、金のために料理店に売られていかかわしい行いを強いられることを知ると、彼女たちを買い取って親元に帰したり、何人も娘を館にかくまうという行いになったのであります。

またピアソン夫人らが中心となつて、一九一六年（大正五年）六月、日本キリスト教婦人矯風会野付牛支部を組織し、遊郭設置反対署名三三五名を集めたのも師夫妻の教化が大いに作用しているところであります。一九一七年九月には、矯風会会頭矢島楯子と少年部長守屋東が来野し、野付牛小学校で矯風会演説会をいたしました。

このようなピアソン夫妻の教化と実践が、当時の日本人にはまだ十分熟していなかった一人一人の個人の具体的人権を大切にしようという思想を、先駆的に目覚めさせることになったと考えられます。

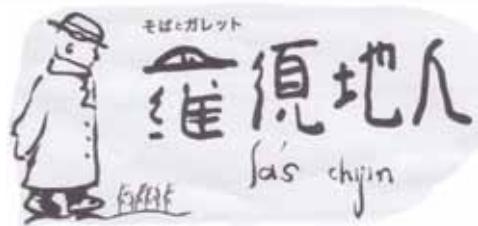
また、師が野付牛に定住し西洋風の生活様式文化を当時の町民に物珍しく思われることになったことも興味深いことあります。そのころ来日した西洋人は、東京や札幌・横浜・神戸のような大きな都会には珍しくありませんでしたが、野付牛のような地方都市では非常に珍し

なぜ、この人たちはこんなに心安らぐ笑顔なのか

「アジアの笑顔に学ぶ」出版記念 長谷川友子写真展



開催期間 / 2023.4.15(土) から 2023.5.22(月)



味処そば!!

北見市内常盤町1丁目5土曜日・日曜日 (11:00~14:00)

※ガレットの営業 (月曜日) 17:30~20:20

電話の予約制 ☎ 61-4729

2023 年度会費納入のお願い

- ① 運営会員 (年会費 5,000 円) ② 賛助会員 (年会費 3,000 円) ③ 団体会員 (年会費 10,000 円)
- 郵便振替の場合: 窓口での振込は 203 円、ATM では 152 円です。  
郵便銀行の場合: 本人口座よりピアソン口座へは、100 円で振込できます。  
記号 / 19910 番号 / 9509351 口座名: 特定非営利活動法人ピアソン会  
他行から、普通預金【口座番号】9509351 【店名】九九八
- 北見信金振込は: 北見信用金庫本店営業部から ATM での扱いで、同一支店内無料。  
特定非営利活動法人ピアソン会、普通口座番号 / 1018723 他支店からは 110 円。
- 北海道労働金庫北見支店: 同一支店内無料。他支店からは 110 円。  
特定非営利活動法人ピアソン会、普通預金口座番号 / 1035638

記事訂正のお願い!

前回会報 108 号の 2 ページ《吉田百合子さんの場合》記事の 4 段目 (下から 2 段目) の「追加資料より」① 2 行目「彌兵」とあるのを「彌平」と、1 文字の訂正をお願いいたします。ホームページ掲載会報、送付の一部会報ではすでに修正済みです。



いことだったと思われず。とは  
言っても、野付牛の町にも伝統的な  
風俗や生活文化が支配的であった  
中で、徐々に西洋的な都市文化が伝  
えられ始めています。

大正三年に、札幌の○井デパー  
トで修業した伊藤元治さんが、ま  
るい呉服店を野付牛で開店してい  
ますが、まもなくデパートに建て  
替え、当時わらじ履きや下駄履き  
の町民にゴム長靴を店頭に並べ、  
ウイスキーのガラスの瓶を置く。  
それと華奢なびんに入ったオーデ  
コロンや化粧品を配する。また山  
寺捨造さんが会陽館という店を開  
きコックを置き、ライスカレーを  
出しました。大正時代も時を経て、  
ハッカと木材で町が繁栄すると、  
河西貴一さんが洋食店を開き横浜  
からコックを招きフルコースの料  
理を出す、といった社会風俗の西  
洋化が見られます。またピアノン  
会会長水津仁郎さんの祖父の水津  
春輔さんが、水津製菓工場で食パ  
ンを焼いてピアノン邸に配達し、  
洋菓子も作る。

ほぼ同じ頃に北見地方の酪農の  
開祖と言われる相原幸四郎さん、  
一説にはかねてピアノン師とも交  
流があり北見で酪農を行うことを  
進めたと伝えられる人物ですが、  
ホルスタイン種の乳牛を北見に連  
れてきて、乳を搾ってバターを製  
造し、毎日牧童にピアノン邸を始  
め河西さん、滝野啓次郎さんなど  
に配達させておられます。このよう  
な西欧化の風俗が広がる中で、野  
付牛駅のそばで薬局を開いていた  
吉野対輔さんの夫人吉野武子さん

が、北見地方で初めて帽子をかぶ  
り洋装にパラソルをさして、野付  
牛公園を散歩し人々を驚かせてい  
ますが、これは大正時代に伝統的  
な日本人の生活様式が変化したこ  
とをあらわしています。

そんなとき、師夫妻の邸宅とし  
て、アメリカ人の有名な設計家で  
関西地方に多くの西洋館を設計し  
たウイリアム・メレル・ボリスが、  
今もほぼ原型が保たれているピ  
アソンの設計をし、この館が柏林  
の中の丘に姿を現したときは、当  
時の木造白壁の和風の家に住んで  
いた人々に、どんな新鮮な好奇心  
を呼び起こしたことか想像するに  
難くないことでもあります。それ  
館の中に今もあるオルガンや、洋  
風の事務机なども、当時の人々に  
とっては好奇の対象だったと思わ  
れます。

ピアノン師の帰国後、教会関係  
に使用されたりしていましたが、  
この建物を一九三九年からおよそ  
八年間住みこなしたのは、クリス  
チャンで医師の唐笠学先生です。  
第二次大戦中にアメリカ文化の様  
式を伝える建物に住む唐笠先生や  
教会の牧師を、官憲が異様に敵視  
して逮捕・監禁したのも、アメリ  
カを敵視した時代の象徴的な事件  
とすることができましよう。唐笠  
先生はこの館を柏樹荘と名付け、  
文筆や俳句をたしなむ人々を集め  
るサロンとし俳句会を開いたり、  
戦後の食糧事情が急迫していた時  
期に、後の北海学園北見大学学長  
の高倉新一郎さん・伊藤整・百田  
宗治・武者小路実篤さんらの作家、

中川一政・川上澄夫さんのような  
芸術家、とりわけ版画家の川上澄  
夫さんは、北見の芋版画の作家で  
ある遠慮深い香川軍男さんを「海  
内無双の版画家」として世に紹介  
された方ですが、大戦下息の詰ま  
るような国家主義的統制下におか  
れていた北見市民が、唐笠先生の  
リードの下にピアノン館でどんな  
に文化的甦生を心から享受できた  
ことか、計り知れないことであり  
ます。そういった意味では、ピ  
アソンの戦後解放の記念碑  
的存在であると言えましよう。

(次回に続く)

**！！**  
**ピアノン記念館事業の資金源**  
**として！**

- ・絵葉書 ・押し花
- ・香り袋 ・マグネット
- ・薄荷(和種) 地元産
- ・ピアノン記念館「エコバッグ」
- ・ピアノンブックレット

(第一号から第七号)  
・改訂版「使徒はふたりで立つ」  
・改訂版「六月の北見路」

※詳細は、ピアノン会ホーム  
ページにてご覧ください。

**スポンサー募集！**

今後もピアノン便りの隔月刊  
発行を継続するために、協力ス  
ポンサーを募集しています。年  
間1万円の協力金で、会報に右  
図スペースでの広告を毎回掲載  
します。スペースを2倍とな  
りますので、スペースを2倍とし  
た場合は年3回となります。詳  
細については事務局まで。

# 「ピアノン学事始め」

17

この「ピアノン学事始め」は、20年前に街の情報誌に  
書かれたものですが、少し手を加え年号なども修正し改  
稿として連載しています。

## (17) パンと三つの星、 そしてピアノン夫妻

前回、『明治三十年代前半にピ  
アソ夫妻は、汽車で小樽への出張教  
授や教会活動をしながら、札幌での  
活動など多忙な新婚時代をおくつ  
いた』と書きましたが、その時代の  
ピアノン夫妻について、とっておき  
の情報が、ピアノン記念館に入りま  
した。

その情報は、苦小牧に住むお菓子  
屋の社長さんによるものでした。そ  
の方は自分の会社の『社史』と『し  
おり』を持参され、「こん日、わた  
くしどもの会社があるのは、ピ  
アソ夫妻のおかげによるのです」と、  
話をされました。

この方は北海道銘菓『よいとま  
け』で有名な苦小牧・三星の小林社  
長さんでした。話によりますと、明  
治三十一年に小樽で三星を開業した  
ことがお店の始まりで、そのきつ  
かになったのが、ピアソ夫妻によ  
るのでした。『社史』を引用してみ  
ますが、『ジョージ・ピアソン牧師に  
教わって、北海道で初めて「売  
るためのパン」を作った。(略)屋号は、  
小樽の教会の方々が、「信仰・希望・  
愛」を表す三星(三つの星)と名付  
けてくれた。(略)パンは北海ホテ  
ルさんと海軍の軍艦が大量に買って



写真／創業当時、小樽時代の「三星」  
の写真(社史より掲載)。

# 「ニュージーランドからの便り」第38回

ピアノン会顧問 グラハム・ハード氏



2023.2.12 荒天

◆先日のメールと選りすぐりニュースの添付記事の中でも、北海道百年記念塔はことに興味深く思いました。将来的に安全性の問題があることは何とも残念です。(北見を去り札幌居住の頃(2015年)にはもう閉鎖されていました。しかし、1978年3月、初めて(ニュージーランドから)札幌に立ち寄った時、(担当者が)壮大な風景を眺められるようにと、てっぺんまで連れて行ってくださったのです。

◆こちら、サイクロン・ガブリエルの接近による数日間の最悪の警報が再度出ました。オークランドや北島上方の辺りは2週間余り前の洪水や地滑り被害のままで、住民の備えには限度があります。ここファンガパラオアは安全です。

◆ユーチューブでの今年の「札幌雪まつり」、豊平館の雪像はイルミネーションの中で特に印象深く、また、月寒近辺散策の様子を目にしたときは郷愁を覚えました。

◆北見の友人方のご健康を!

2023.2.24

◆今、ファンガヌイです。二日前に来て、1週間の滞在予定です。ダムスン(木の実)やプルーンは期待に反して3個と1個だけが木に残っていて、これは特別のご馳走となりました。ファンガパラオアへ戻る前に梨を収穫してリングゴは次回に。

◆北島の北部・東部は2月初めのサイクロンで壊滅的な被害を被り、命を失った人や消息不明者も多いです。家屋や橋、農地や収穫物も流失し、電気、水道、道路、通信網なども寸断されています。復旧作業は始まっていても回復には何カ月もかかるでしょう。甚大な被害はかつてのカタバリー大地震の災害を思わせます。

◆私たちが家族は難に遭うことなく、先週日曜日(2/12)オークランドの中華料理店に集い、スタン(姉の夫)の77歳誕生日を祝いました。◆北見の皆様方どうぞよろしく。

2023.3.3

◆ここファンガヌイは快適で、昨日は果樹園の二本の梨を収穫。良い実りでも食べごろは数日後に。先日、従兄弟のステイヴがパドック(牧草地)のアザミを機械で刈ってくれました。機械の届かない所を自分で

写真/ハードさんの牧草地で、従兄弟のステイヴがあざみを刈り取っている



しています。

◆あのサイクロンの被害では多くの家屋が、もう居住に耐えられそうもないです。広域で道路も鉄道も不通。回復には何カ月もかかりそうです。被災地からの帰還不能も多いでしょう。

◆明日(3/4)は自宅へ帰る予定です。北見の友人方どうぞよろしく。グラハム・ハード

2023.3.20

◆こちらも晴天で外仕事も多く、トラック一台分のストープ用薪が車庫階下に準備できました。(訳者の質問に対し)ファンガヌイの「北見農園」面積は3.6ヘクタール。これまでの写真のように、隣人の所有地も含む広範囲の風景が楽しめます。パドックは、羊や牛が草を食むために柵で囲まれた牧草地です。こちらの田園地方の風景は、大抵パドックがあつて成り立っています。

◆ニュージーランドと日本で、コロナに関わる制限が緩和されてきました。待ち望んでいた日本への旅行の時が来た、と決断し、予約しました。5月17日(水)千歳着。6月20日(火)帰国。北見訪問を5月下旬〜6月上旬と計画しています。北海道旅行は5月6月が良いので、そう願っています。

◆北見の方々にお会いできるのが楽しみです。外出を控えたい方々にご迷惑をおかけすることがあります。状況が好転しますように。

◆ご多幸お祈りいたします。

グラハム・ハード

## 電子書籍版「ピアノン便り」

(創刊号)第108号

1998年10月〜2023年1月

487ページ・カラー仕上げ

予約販売 2500円

## 編集後記

新型コロナウイルス問題は、まる3年間世界中に蔓延し(本当に世界中に蔓延したのか定かな資料を持っていないのですが)、ようやく終焉を迎えようとしています。今後どうなるのでしょうか。

ピアノン記念館デザインの「エコバッグ」、なかなか評判が良いようです。私は車の中に常に置いて、いざという時に使用しています。新年度には、英語表記も作成したいと計画しています。姉妹都市エリザベス市にも「おみやげ」として持って行くようにと考えてのことです。今後、北見の定番「おみやげ」として位置付けられたら、などと夢のようなことも期待しています。

新年度が始まります。総会は5月27日土曜日を予定しています。多くの会員の参加を期待しています。

グリーンコンサートを4年ぶりに開催しようと計画しています。各団体に参加の打診をしているのですがまだ最終決定を下すまでには至っていません。次の会報にご案内出来ると思います。(理事兼事務局長 伊藤 悟)

瞳ふあっしょん・瞳けあ

# めがねのよっしー

代表 岩井敏忠

〒090-0043 北海道北見市北3条西3丁目

携帯.090-2693-1919 TEL.0157-57-3664

定休日/毎週木曜日・営業時間/10時~19時